

千葉大学医学部附属病院で治療された 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2024年7月25日

臨床栄養部

現在、臨床栄養部では「脳卒中患者におけるリハビリテーションの効果に対する栄養不足の影響」に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2023年6月1日～2024年7月25日の間に脳神経外科または脳神経内科で脳卒中と診断され脳卒中集中治療室（SCU：Stroke Care Unit）で治療を受けた方

1. 研究課題名

「脳卒中患者における機能的アウトカムに対するエネルギー負債の影響」

2. 研究期間

2024年承認日～2026年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

当院では、2023年6月より脳卒中ケアユニット（SCU）が稼動しています。SCUでは医師、看護師、リハビリテーションスタッフ、管理栄養士が共同し、脳卒中を発症した患者さんの栄養管理を行っています。

脳卒中を発症した後の栄養状態の低下は筋肉量低下の進行など身体機能の回復に悪影響を与えることが知られています。そこで、本研究では、2023年6月1日～2024年7月25日の間にSCUに入院した患者さんを対象とし、脳卒中発症後の最初の1週間の栄養摂取が患者さんの栄養状態や身体機能の維持・回復にどのように影響するかを

検証します。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究では、診療録に記載されている年齢、性別、身長、体重、病歴、血液検査値、脳卒中の診断名（脳梗塞や脳出血など）、入院後の食事や点滴などからの栄養摂取状況、リハビリテーション実施時の記録を使用します。

5. 研究組織（試料・情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：臨床栄養部 部長/肝胆膵外科 教授 大塚 将之

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院臨床栄養部において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

（URL：<http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>）

7. 研究についての相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

臨床栄養部 管理栄養士 鶴岡裕太

043（222）7171 内線6151